

喜入校区社協だより

令和五年十一月発行 第三十七号
発行 喜入校区社会福祉協議会

『会長あいさつ』 会長 福迫 正昭

校区員の皆様には、地域の福祉向上・活性化活動に積極的に参加して頂いていますことに心より感謝申し上げます。現在もコロナウイルス感染症とインフルエンザとの同時流行中です。アフターコロナが日常となり、世の中の動きもコロナ前とは違った形で複雑化しています。

私たちの日常生活も、この変化に的確に対応すべく行動して参りましょう。泣く子と流行り病には勝てませんが、なだめたり備えたりする事は出来るでしょう。

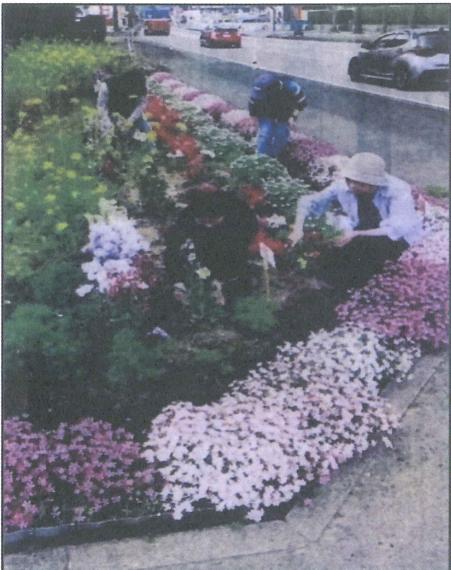
今年は鹿児島県で特別国民体育大会・全国障スポ大会が開催され、鹿児島県選手の活躍は素晴らしい、感動しました。

もうすぐ十二月です。年の瀬の声に押されて否応なしに気忙しくなり心身共にストレスが増加する月です。寒くなっていますので、飲み過ぎや食べ過ぎ、体調管理に充分気を付けて楽しい年末・年始をお迎え下さい。

“癒しの花壇” 色合い鮮やか

〔旧市 集落〕

旧市花壇サポート責任者の加治佐夫妻と旧市花壇ボランティア有志が「癒しの花壇色合い鮮やか」のタイトルで今年三月、南日本新聞に掲載されました。国道二二六号線沿いに、夫妻と有志が育てた季節の花々が見頃を迎えています。有志の皆さん一年を通して、花壇の水やり・清掃・草取りを行ってくれています。今後も身体に気を付けて、楽しみながら花壇のサポートを頑張って参ります。



喜入 旧市交差点

色鮮やか花々が道行く人たちの目を楽しませる
“癒しの花壇”

高齢者クラブの紹介

〔渕田 集落〕

『ふちだ桜会』は、会員数六十五名で構成されています。

コロナ禍で花壇の手入れ以外、活動を自粛していましたが、今年四月からは週二回グランドゴルフ・月二回ふれあい会食・社会福祉協議会や保健センターによる介護福祉講座・福祉バスでの見学ツアーや忘年会。また地域児童とは、通学時の声かけ誘導・七夕飾り・クリスマス会での、ふれあい活動。それから防犯パトロール隊員として夜間パトロール・道路のコバレ（草払い）などなど、人生一〇〇年時代「いきいき渕田」を合言葉に、会員の親睦を深めながら元気に明るく渕田集落の活性化に尽力したいと思っています。



介護講習会

未来へつなぐ伝統行事 八幡川清掃＆筏下り

「麓連絡会」

麓東・西集落の財産にもなる八幡川の恵み。これを守り、活かす伝統行事があります。美化ボランティア活動の川清掃と自然体験活動の筏下りです。

筏下りは、こぎ手の子供六人ほどに大人四人が長竿を使って後押ししながら舵をとる。子供達も精一杯漕ぐが、なかなか前に進まない。悪戦苦闘しながらも、四百メートルほどの旅を味わった。

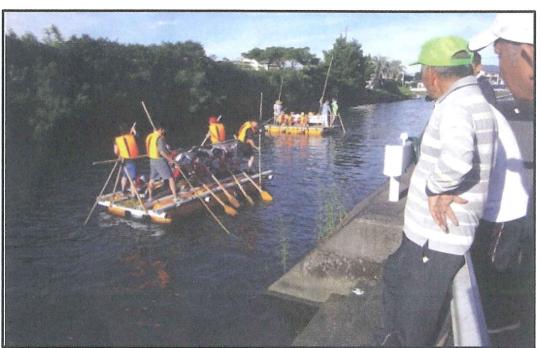
この行事には、あすなろ会（子供会）の「やる気」と壮年会・集落民の温かい「支援」が大きい。



みんなでワイガヤ清掃



ワクワクドキドキの筏下り



温かい眼差しで見守る地域住民

子供達の挑戦意欲と行動力、それを見守り育てる態勢が、しっかりとみ合う事で、心身共に健やかで、力強く羽ばたいていく子供達の成長につながり、更には子供達に、周りに支えられていることに対する感謝する心を育むことになるでしょう。

人生百年時代とも言われる今日、高齢者の健康と生きがいづくりには、未来に羽ばたく子供達の元気さの働きもある。このことは、子供時代に自分の生き方を拓く好奇心と挑戦意欲、始めてみる行動力が求められているようにも思います。

今的孩子達が青年期、壮年期、そして高齢期を迎えるなかで、自分の生きがいづくりに向けて、多様な体験を自ら味わつてくれたら！と願う今日この頃です。

令和五年三月～令和五年十月（敬称略）

校区と町内会の福祉活動に
大切に使わせていただきます。

香典返しのご寄付
有難うございました。



亡くなられた方	町内会	寄付者
大蘭 テル	宮地	大蘭 洋子
栗脇 フミ	仮屋崎	栗脇 清文
渕田 攻	麓東	渕田 多喜子
丸岡 多喜	麓東	丸岡 隆
新宮領 イネ	西山 フキ	
西山 秀雄	中村 英雄	
堀之内 秀登	中島 領南	
山本 みづえ	山本 馨	
中島 麗子	山本 馨	
仮屋崎 スエ子	堀之内 育	
野元 良雄	中島 俊郎	
栗脇 チエ子	仮屋崎 修	
渕田 ユミ	旧麓	
栗脇 一俊	中島 俊郎	
年永 尚美	野元 祐宏	
野元 修	野元 祐宏	

この喜入校区社協だよりは、
赤い羽根共同募金の助成を
受けて発行しています。